

医師

早川一光を

語る会

西陣の医療から

総合人間学へ

早川一光 (1924~2018)
京都新聞社提供 撮影/松村和彦

2018年6月2日、

早川一光医師が亡くなりました。

94歳。1948年に京都府立医大を卒業し、
50年に西陣に住民出資の診療所に呼ばれ、

26歳で所長になりました。

それ以降、亡くなる瞬間まで「医師」として生き抜きました。

「地域医療・在宅医療のパイオニア」と称される

戦後日本を代表する医療者であり、認知症をいち早く

社会問題として取り上げ、1980年「呆け老人をかかえる家族の会」

(現・公益社団法人認知症の人と家族の会)創設に

関わりました。亡くなる2か月前までKBS京都で

30年続いたラジオ番組「早川一光のぼんざい人間」の

パーソナリティであり、医学、哲学、芸術、宗教が

融合する「総合人間学」構想を語る

夢追い人。

晩年は多発性

骨髄腫を病んだことを

きっかけに、患者の立場から、

医療、看護、介護のあり方や、いのちや

健康について自分たち自身の課題として

考えていく大切さについて発信し続けました。

彼が追い求めた「医学」「総合人間学」「大往生」とは

どんなものなのか?早川一光を知る人、

関心を寄せる人が集まって、それぞれの目で捉えた

「医師 早川一光」を語り、志を引き継ぐ集まりを

開きます。生前を知らない皆様も、

是非ご参集くださいますようお願いいたします。

2018年

12月15日(土)

10:00~17:00 (開場 9:30)

立命館大学朱雀キャンパス
5階大ホール

定員 470名

参加
無料

事前申し込み

内容

第1部 早川一光の仕事を知るための講演

「私は早川一光に何を求めたか」行天 良雄(元NHK解説委員)

「戦後の医療運動と早川一光」立岩 真也(立命館大学生存学研究センター長)

第2部 それぞれの見た早川一光 思い出と引き継ぐもの

早川一光について思い出のある人々が次々に登壇し語る。

発言希望者を募集中。(詳細は裏面)

第3部 早川一光の仕事の現代的意義を考えるパネルディスカッション

コーディネーター/ 町永 俊雄(元NHK「福祉ネットワーク」キャスター)

企画 早川一光の歩みの写真展示(協力:京都新聞社)

追悼コーナー

会場には、早川一光とお別れするための
「追悼コーナー」を設けます。

早川一光先生を語る会実行委員会 呼びかけ人(順不同)

谷口政春 堀川病院顧問/近藤泰正 西陣健康会理事長/西池季一 堀川病院OB会副会長
根津幸彦 永原診療会千本診療所/高見国生 認知症の人と家族の会前代表理事/細井俊介 株式会社放送社長
天野芳子 「ぼんざい人間」リスナー/伊澤 敏 佐久総合病院統括院長/北澤彰浩 佐久総合病院診療部長
中村伸一 名田庄診療所所長/細尾真奈美 早川塾

<準備事務局>(順不同) 高見国生/早川静好/色平哲郎/長純一/川村雄次



1950年代 西陣の人たちと
(後方中央が早川医師、2列目右端に妻 幸恵さん)



JR・京都市営地下鉄「二条」駅下車、徒歩約2分
阪急「大宮」駅下車、徒歩約10分
市バス・JRバス:「千本三条・朱雀立命館前」下車、すぐ
※ご来場は公共交通機関をご利用ください

主催 早川一光先生を語る会実行委員会 立命館大学 地域健康社会科学研究センター

協力 立命館大学生存学研究センター

後援 公益社団法人認知症の人と家族の会 KBS京都、京都新聞、朝日新聞京都総局、読売新聞京都総局、毎日新聞京都支局、産経新聞京都総局

医師 早川一光を語る会

～西陣の医療から総合人間学へ～

2018年

12月15日(土)

10:00～17:00 (開場 9:30)

立命館大学朱雀キャンパス

5階大ホール

参加
無料

事前申し込み

進 行 予 定

9:30	開場
10:00～11:05	第1部 早川一光の仕事を知るための講演 「私は早川一光に何を求めたか」行天 良雄(元NHK解説委員) 「戦後の医療運動と早川一光」立岩 真也(立命館大学生存学研究センター長)
11:10～15:15 (12:10～13:00 休憩)	第2部 それぞれの見た早川一光 思い出と引き継ぐもの 早川一光について思い出のある人々が次々に登壇し語る。発言希望者を募集中。 ～テーマ例～ 1 西陣の医療 ともに見た夢 2 地域医療のバトンを引き継ぐ 3 認知症と向き合う 4 ラジオ放送という現場 5 医療と宗教の出会い 6 早川塾、衣笠塾で学んだこと 7 こんなはずじゃなかった～患者になった早川一光～ など
15:25～17:00	第3部 早川一光の仕事の現代的意義を考えるパネルディスカッション 「早川一光とは何者か、何をどう引き継ぐのか」 ☐ コーディネーター/ 町永 俊雄(元NHK「福祉ネットワーク」キャスター) パネリスト ■ 高見 国生(認知症の人と家族の会 前代表理事) ■ 早川 岳人(立命館大学地域健康社会学研究センター長) ■ 中村 伸一(おおひ町国民健康保険名田庄診療所所長) ■ 長 純一(石巻市立病院開成仮診療所長・石巻市包括ケアセンター長) ■ 細尾 真奈美(京都市立病院医師) ■ 川村 雄次(NHKディレクター) ほか

申 込 方 法

第2部発言希望の方の締め切りは、11月9日(金)です。

申し込みは、下記、問い合わせ先をお願いいたします。

※「聞くだけ」の方は当日参加も可能ですが、事前にお申し込みいただくと幸いです。メール、ファックス、郵便のいずれかで、以下の事項をお知らせください。

※発言を希望する方が多数の場合は、全員にご発言いただけない場合もあります。

お問い合わせ

立命館大学 衣笠総合研究機構 地域健康社会学研究センター 気付

「早川一光先生を語る会」準備事務局

メール:warajiisha@gmail.com FAX:075-466-3347

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/health-c/>

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。 **FAX 075-466-3347**

名前

(ふりがな)

住所

〒

メール

※メールまたはFAXどちらか

FAX

早川一光先生との関わり

※「堀川病院時代に診てもらっていた」「本や文章を愛読」
「ラジオを聞いていた」「××で一緒に働いていた」
「××で講演(医学部講義)を聴いた」など

参加の形 ※どちらかに○をお付け下さい。(A:発言したいことがある B:聞くだけでいい)

※発言を希望される方はテーマをお教えください。お一人原則3分程度。